

## Quick Review!

### ノクターン日本語版

ゲーム機関連ではプレイステーション2が楽しみな今日このごろだが、PCゲームのウリといえば、ネットワーク対戦ができることとハードウェアの新機能を生かした画面がイチ早く見られること。このノクターンは、もろに後者を狙った一本だ。

超常現象を扱う専門組織のエージェントとなって怪異な事件を解決するホラー仕立てのアドベンチャーゲーム、それがノクターンだ。トゥームレイダーのような激しいアクションよりもシブい演出で見せるタイプなので、主人公はトレンチコートにサングラスというハードボイルドな出立ちだ。

雰囲気もシブければ画面もシブい。数々の凝った画面描写は、ノクターンのウリ物の一つだ。光の中を歩くとクッキリと自然な影が浮き出し、霧にぼやけた中に目を凝らすとゲールが近づいてきたり、雨が降り雷鳴が轟くなかインプの群れに襲われたり、印象的なシーンがいくつも出てくる。とくに雷の中のシーンは、流れる雲や一瞬の稲妻の光がとてもリアルで、不穏な空気を漂わせるいい演出だと感じた。

ただしこれだけの内容を見せるため、要求ス

ペックはとにかくハードだ。Pentium II/IIIまたはCeleron/266MHz以上、メモリ96MB(ハードウェアレンダリング時)、ビデオカードはAGPが必須で、Millennium G200/400、Rage128、RIVA TNT/TNT2を推奨、HDDの空きは1.2GBは欲しいという具合。必要スペックがすでに揃っている人はもちろん、このために投資した人でも納得できるだけの画面を見せてくれるだろう。

とはいえ、画面がいいから最上のゲームとは限らない。ノクターンは、この手のゲームでの生命線ともいえる「操作性」にやや難アリなのだ。

戦闘のときは敵に照準が合わせづらく、後ずさりしながら銃弾を撃ち込む場合もひと苦労だし、貨車の天井から中に飛び降りたらダメージを受けて死んだとか、分かりにくいカメラワークのせいで車両と車両の隙間に足を踏み外して死んだとか、いろいろなスリリングさもいっぱいある。

舞台設定も、ハードボイルドでCoolな画面に比べてちょっと子供じみている。プレイヤーの属する組織には、半分吸血鬼の女性、正真正銘の悪魔、ゾンビといったメンバーがいるが、

■価格：8800円  
 ■問い合わせ先：ピーアンドエー  
 ☎042-525-9501  
 http://www.panda.co.jp/  
 ■動作環境：Windows 95/98/NT4.0、Pentium II/IIIまたはCeleronの266MHz以上(推奨400MHz以上)、メモリ64MB以上(推奨128MB以上)、空きHDD容量600MB以上(推奨1.2GB以上)、ビデオチップにMillennium G200/400、RAGE 128、RIVA TNT/TNT2を推奨

Nocturne, the Nocturne logo, the Nocturne fangs, and the Terminal Reality logo are trademarks of Terminal Reality Inc. Gathering of Developers and godgames are trademarks of Gathering of Developers, Inc. All other trademarks and trade names are properties of their respective owners. © 1999 Gathering of Developers, Inc. All Rights Reserved.

作戦遂行前に交わす会話は米国の子供向けアニメみたいだ。ボスはボスで、サファリ服にアイパッチと007でみたような人物。主人公のセリフは、声は洪いが表現にハードボイルド特有の皮肉さ、カッコよさが無い。

正直にいうと、Alone in the Darkシリーズ、バイオハザードシリーズなどが持つ、サウンド、ゲームシステム、演出などの「エポックメイキングな素晴らしさ」は、ノクターンからは感じられない。ともかくこのゲームのウリは、その画面描写なのだ。これは本当に素晴らしい。これを見るだけでも価値はある。

ゲームからムービーへの自然な移り変わりとか、唐突にミニゲームが仕込んであるバイオハザードのようなあざとさがない点とか、ゲームとしての作りの良さを感じさせる面もあるので、自分のマシンのハイエンドのスペックを堪能したい人は、ぜひ。(清瀬栄介)



雷鳴轟く墓地に行く。稲妻の閃く一瞬を撮ってみました。非常に苦労したのに、画面写真にしてしまうと地味なのがガックリ。実際に画面で見ると非常にカッコイイぞ



客車の中に狼男が！ 動きにくい空間を逆手に取り、相手の動きが止まったところに銃弾をぶち込め！



装備しているライトをつけると……浮かび上がるゲールの姿



浮かび上がるライトの中、死肉を貪り喰うのは……非常に映画的でかつカッコイイ画面描写。こういう部分のカメラワークにはセンスを感じる